

随想

〈第四十二回〉

大相撲に沸いた夏

市長 米本 弥一郎



今年の夏を象徴するような暑さの中、大相撲旭場所が開催されました。昭和36年以来、実に64年ぶりの巡業であり、旭市20周年記念にふさわしい催しとなりました。開催に当たり、ご尽力をいただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

旭市と大相撲の縁は深く、東日本大震災の際には、当時の横綱・白鵬関ら9人の力士が駆け付け、市民を勇気づけてくれました。また、市内の高齢者施設には追手風部屋の力士が何度も慰問に訪れてくれます。これらの縁もあって、今回の開催につながったと思っています。

5月に市役所で行われたチケットの先行販売では、徹夜組が出るほどで、その後の一般販売も数日で完売となりました。8月上旬には、大きなのぼり旗が立ち並び、市内のムードも急激に高まっていきました。

当日は豊昇龍関、大の里関をはじめ、豪華な顔ぶれがそろい、巡業関係者から「開催が決まってから新横綱が誕生し、東西横綱を迎えられる旭市の皆さんは、持って、ますね」との言葉をいただきました。

公開稽古が始まると、力士たちの体と体がぶつかる音に圧倒され、相撲甚句や初切、大銀杏の髪結実演など、巡業ならではの演目も楽しませていただきました。横綱の土俵入りや取組は本場所さながらで、取組が進むにつれ、ひいきの力士への大きな声援や拍手で会場の熱気も高まり、最後の横綱対決では最高潮を迎え、大盛況のうちに幕を閉じました。力士が四股を踏むことには、元々は土地の邪気を祓い、五穀豊穡や無病息災を願う意味があるそうです。大相撲との縁が、豊かな旭を次世代へつなぐ力になればと思います。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後7時

土・日曜日、祝・休日…午前9時～午後5時

10月の休館日／6日(月)、14日(火)、17日(金)、20日(月)、27日(月)

岡市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／4日(土)、18日(土)

午前10時30分～11時

場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「リクと暮らせば レンタル番犬物語」

大崎梢 著 (双葉社)

レンタル番犬サービスから派遣されるのは、訓練を受けた優秀な犬たちばかり。忠実に寄り添う犬の存在が、利用者の生活に優しい変化をもたらしていく。



「森栄莞爾と十二人の父を知らない子供たち」

逸木裕 著 (中央公論新社)

故・森栄氏が出自を隠して精子を提供し、生まれた12人の子。森栄氏を父と認める声明を出すために集められたが、人物像を探るうちに真の目的にたどり着く。

新着図書

- 「キノコ雲」の上と下の物語 (原田小鈴、アリ・ビーザー)
- 勲章の近代史 (刑部芳則)
- 市長たじたじ日記 (清水聖士)
- 生命と時間のあいだ (福岡伸一)
- 胃活の教科書 (三輪洋人)
- 炎はつなぐ (大西暢夫)
- あなたはもう遭難している (羽根田治)

- コーヒー2050年問題 (武田淳)
- 天使と歌う (愛野史香)
- 鋼鉄の城塞 (伊東潤)
- 13月のカレンダー (宇佐美まこと)
- エンドロール (今野敏)
- ニュースが消える日 (堂場瞬一)
- 天才望遠鏡 (額賀滯)
- バンクハザードによろこそ (中山七里)

- 天空遊園地まほろば (浜口倫太郎)
- マスカレード・ライフ (東野圭吾)
- アラート (真山仁)
- 汚名 (和田はつ子)
- 昭和二年生まれの流儀 (城山三郎、吉村昭)
- 生きる言葉 (俵万智)
- ボクは日本一かっこいいトイレ清掃員 (大井朋幸)